

平成 28 年 度

事 業 報 告 書

事業報告の附属明細書

公益財団法人かわさき市民活動センター

目 次

事業報告書

1 当法人の現況に関する事項	1
(1) 事業の経過及びその成果	1
(2) 直前 3 事業年度の財産及び損益の状況	1
(3) 主要な事業内容	1～2
(4) 重要な契約に関する事項	2
(5) 職員に関する事項	2
(6) 役員会等に関する事項	2～3
2 役員等に関する事項	4
(1) 理事	4
(2) 監事	4
(3) 評議員	4
(4) 役員等の報酬	5

事業報告の附属明細書

I 役員その他の法人等の業務執行理事等との重要な兼職の状況…	6
II 事業の実施状況について補足すべき重要事項【事業の概要】…	6
1 市民活動推進事業	6～14
2 青少年健全育成事業	15～37
3 法人の運営	37～38

事業報告

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

はじめに

当財団の使命は、「川崎市における市民活動支援の中間支援組織として市民相互の連携を図りながら市民活動の活性化を促進するとともに、青少年の心身の健全な育成を図るため、青少年事業の推進及び地域組織への支援を行い、もって住みよい地域社会の確立に寄与する」ことと定款第3条に定められています。平成28年度においても「市民活動推進事業」及び「青少年健全育成事業」を2本の柱として、地域の関係団体・関係機関と連携した事業展開を図りました。

「市民活動推進事業」では、研修・相談事業において「ボラ・ナビ 2016 夏休み版」の発行やかわさき市民公益活動助成金制度運営事業において、「組織基盤強化助成」をメニューに加えるなど新たな取り組みを行いました。

「青少年健全育成事業」では、川崎市こども文化センターの第3期指定管理期間（平成30年度までの3年間）がスタートし、安定的な管理運営を進めました。

また、法人として確実な組織運営と健全な財政運営を心がけた経営を行い、公益目的事業の推進を図りました。

1 当法人の現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果 (補正後) (単位：千円)

事業別【経常収益】	予算現額	執行済額	執行率
市民活動推進事業	96,365	92,428	95.91%
青少年健全育成事業	2,733,681	2,730,872	99.89%

(2) 直前3事業年度の財産及び損益の状況 (単位：千円)

区 分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度 (当事業年度)
経 常 収 益	2,868,735	2,909,305	2,939,892	2,870,310
当期経常増減額	△22,182	△29,418	76,429	△17,627
正味財産期末残高	268,540	239,321	315,748	298,438

(3) 主要な事業内容

事 業	主 要 な 事 業 の 内 容
市民活動推進事業	・市民活動に関する情報の収集・提供及び啓発事業 ・市民活動に関する調査・研究事業 ・市民活動に関する人材育成及び相談事業 ・市民活動の促進・支援事業 ・関係機関・関係団体等との連携 ・その他目的を達成するために必要な事業（理事会又は評議員会で決議する事業）
青少年健全育成事業	・青少年の健全育成に関する事業 ・青少年施設の管理運営の受託

	・関係機関・関係団体等との連携 ・その他目的を達成するために必要な事業（理事会又は評議員会で決議する事業）
--	--

(4) 重要な契約に関する事項

契約年月日	相手方	契約金額	契約期間	契約の概要
平成28年4月1日	川崎市	合計 2,642,461,190 円	H28.4.1 から H29.3.31 まで	川崎市こども文化センター指定管理業務の受託に伴う年度協定書

(5) 職員に関する事項

(平成29年3月31日現在)

職 名 等	氏 名	就任年月日	担当事務	備 考
事務局長	濱舘 幸二	H28.06.13	事務局の総括	重要な使用人
総務課長	秋田 達也	H28.07.01	課の総括	
市民活動推進課長	入口 茂	H24.04.01	〃	
青少年事業課長	大倉 萬里子	H22.10.01	〃	(参事)
青少年事業課主幹	島 忍	H22.10.01	エリアマネージャーの総括	
その他の職員（嘱託職員を含む）				302 人

(6) 役員会等に関する事項

ア 理事会

会議名	開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
第1回	平成28年 5月25日	議案 第1号 平成27年度事業報告及び収支決算について 第2号 平成28年度5月補正予算について 第3号 平成28年度第2回評議員会の開催について 報告 第1号 行政庁へ提出する事業報告書等について 第2号 書面決議による理事会議事録について 第3号 協定書の締結について	可決 可決 可決 了承 了承 了承
第2回	平成28年 6月13日	議案 第1号 理事長の選定について 第2号 副理事長及び常務理事の選定について 第3号 重要な使用人（事務局長）の選任及び解任について	可決 可決 可決
第3回	平成28年 11月22日	議案 第1号 平成28年度11月補正予算について 第2号 規則の改正について	可決 可決

		第3号 平成28年第3回評議員会の開催について 報告 第1号 平成28年度上半期の事業等について 第2号 全市的イベントの実施について	可決 了承 了承
第4回	平成29年 3月14日	議案 第1号 規則の改正について 第2号 平成28年度3月補正予算について 第3号 平成29年度事業計画について 第4号 平成29年度収支予算について 第5号 行政庁への事業計画書等の提出について 第6号 平成29年度第1回評議員会の開催について 報告 第1号 職員採用選考及び昇任試験の結果について 第2号 全市的イベントの実施結果について	可決 可決 可決 可決 可決 可決 了承 了承

イ 評議員会

会議名	開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
第1回	平成28年 4月18日	報告 第1号 特定費用準備資金の保有について 第2号 規則の改正について 第3号 平成28年度事業計画について 第4号 平成28年度収支予算について 第5号 行政庁への事業計画書等の提出について 第6号 職員採用選考及び昇任試験の結果について 第7号 全市的イベントの実施結果について	了承 了承 了承 了承 了承 了承 了承
第2回	平成28年 6月13日 (定時評議員会)	議案 第1号 平成27年度事業報告及び収支決算について 第2号 理事の任期満了に伴う改選について 第3号 監事の任期満了に伴う改選について 報告 第1号 平成28年度5月補正予算について 第2号 行政庁へ提出する事業報告書等について 第3号 平成28年度予算書の修正にともなう書面決議について 第4号 川崎市こども文化センターに関する協定書の締結について	可決 可決 可決 了承 了承 了承 了承
第3回	平成28年 12月12日	報告 第1号 平成28年度11月補正予算について 第2号 規則の改正について 第3号 平成28年度上半期の事業等について 第4号 全市的イベントの実施について	了承 了承 了承 了承

2 役員等に関する事項

(平成29年3月31日現在)

(1) 理事

役職名	氏 名	任 期	常 勤 非常勤	報酬	他の法人等の代表状況等
代表理事 (理事長)	小倉 敬子	H28.6.13 から H30.6 定時評議員 会まで	常 勤	有	LET'S 国際ボランティア交流会 代表
副理事長	鈴木 眞智子	〃	非常勤	〃	特定非営利活動法人 とどろき水辺 理事
副理事長	福田 武雄	〃	〃	〃	川崎市青少年育成連盟 副理事長
代表理事 (常務理事)	太田 直	〃	常 勤	〃	元市民・こども局長
理 事	加藤 妙子	〃	非常勤	〃	おと絵がたり 代表
〃	桑原 賢治	〃	〃	〃	公益財団法人 川崎市生涯学習財団 副理事長
〃	土屋 加代子	〃	〃	〃	社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会 事務局長
〃	深瀬 浩由	〃	〃	〃	川崎市レクリエーション連盟 会長
〃	持田 和夫	〃	〃	〃	川崎市全町内会連合会 副会長
〃	吉澤 慶太	〃	〃	〃	川崎市 P T A 連絡協議会 副会長

(2) 監事

役職名	氏 名	任 期	常 勤 非常勤	報酬	他の法人等の代表状況等
監 事	浅田 省三	H28.6.13 から H30.6 定時評議員 会まで	非常勤	有	元川崎市理事・収入役室長
〃	志村 佳徳	〃	〃	〃	税理士

(3) 評議員

役職名	氏 名	任 期	常 勤 非常勤	報酬	他の法人等の代表状況等
評議員	齊藤 準	H26.6.19 から H30.6 定時評議員 会まで	非常勤	有	社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会 理事
〃	三枝 博男	〃	〃	〃	司法書士
〃	菅原 陽子	〃	〃	〃	元特定非営利活動法人 市民文化パートナーシップかわさき 理事長
〃	竹井 斎	〃	〃	〃	特定非営利活動法人 アクト川崎 理事長
〃	土澤 稔	〃	〃	〃	元川崎市立中学校校長
〃	永津 英二郎	〃	〃	〃	税理士
〃	仁藤 公子	〃	〃	〃	元川崎市立小学校校長
〃	東田 乗治	〃	〃	〃	元神奈川県青少年指導員連絡 協議会 会長
〃	前田 成東	〃	〃	〃	東海大学教授

(4) 役員等の報酬

区 分	人 数	報酬の総額	備 考
理 事	10名	6,256千円	常勤及び非常勤
監 事	2名	136千円	非常勤
評議員	9名	184千円	非常勤
合 計	21名	6,576千円	

注1：理事、監事及び評議員の報酬額は、平成22年7月1日開催の評議員会において了承された「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規則」において定められている。

2：評議員の報酬の限度額は、「定款」第15条において、毎年度総額30万円を超えないものとされている。

事業報告の附属明細書 <<平成 28 年度事業報告>>

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

I 役員の他の法人等の業務執行理事等との重要な兼職の状況

区 分	氏 名	兼 職 先 法 人 名	兼職の内容
理 事	金 井 則 夫 (6月13日まで)	公益財団法人川崎市生涯学習財団	理 事 長
	桑 原 賢 治 (6月13日から)		副 理 事 長

II 事業の実施状況について補足すべき重要事項【事業の概要】

1 市民活動推進事業

全市・全領域の市民活動団体の中間支援組織として、これまでの経験と知識を活かし、川崎市民のボランティア活動及び市民活動団体への支援・育成に取り組みました。平成 28 年度の主な取組結果は、次のとおりです。

(1) 会議室・フリースペース等管理運営事業

平成 28 年度の利用登録団体数は、新規 30 団体、計 711 団体でした。

施設・設備名	平成 27 年度		平成 28 年度		前年度比較（増減）	
会 議 室 A	566 団体	6,044 人	570 団体	5,776 人	4 団体	△268 人
会 議 室 B	452 団体	4,437 人	479 団体	4,749 人	27 団体	312 人
印 刷 室	571 団体	1,360 人	492 団体	1,135 人	△79 団体	△225 人
フ リ ー ス ペ ー ス	3,864 団体	18,039 人	3,727 団体	17,218 人	△137 団体	△821 人
パソコン（2 台）	493 団体	697 人	447 団体	654 人	△46 団体	△43 人
ロッカー・大（72 台）	72 台		72 台		0 台	
ロッカー・小（9 台）	9 台		9 台		0 台	
レターケース（57 台）	35 台		32 台		△3 台	
市民活動ブース 1	認定NPO法人キーパーソン 21					
市民活動ブース 2	NPO法人グローイン・グランマ					
市民活動ブース 3	おと絵がたり					
市民活動ブース 4	かわさきJプロジェクト+					
市民活動ブース 5	①持続可能な地域交通を考える会 ②川崎の交通とまちづくりを考える会 ③川崎フューチャーネットワーク					
後援名義申請数	14 団体		17 団体		3 団体	
施設・設備等利用合計	5,946 団体	30,577 人	5,715 団体	29,532 人	△231 団体	△1,045 人

(2) 情報提供・啓発事業

ア 情報紙「ナンバーゼロ」の発行 (録音版の製作)

ボランティアや市民活動に関する様々な情報を提供するため、毎月 10,000 部 (1・4 面フルカラー、2・3 面モノクロ) 発行し、市内公共機関、関係団体及び賛助会員に配布しました。

また、視覚障害の方にも情報を提供するため、各月号の録音版 CD (デージー図書) を作成し、市内希望者等に当該団体等を通じて 34 人の方に配布しました。

イ ボランティア・市民活動募集冊子（ボラ・ナビ）の発行

ボランティア・市民活動に参加してみたいという学生や市民の方々に役立ててもらうため、市内活動団体のボランティア募集情報を掲載した小冊子「ボラ・ナビ 2016」を川崎市社会福祉協議会と共同で 5,000 部発行し、市内関係機関・団体、小・中・高等学校等に配布しました。

平成 28 年度から川崎市社会福祉協議会の協力を得て、主に児童・生徒・学生向けの「ボラ・ナビ 2016 夏休み版」（掲載団体 93 団体/掲載情報 98 件/16 ページ）を 2,000 部発行し、市内関係施設・団体・小・中・高等学校・大学を中心に配布しました。

ウ 神奈川新聞へのコラム連載

市内ボランティア・市民活動の情報提供を目的に、21 人の市民記者の取材・執筆によるボランティア・市民活動等に関する様々な情報を神奈川新聞の協力を得て、同紙の土曜版に「市民発 地域をつくる人・活動」と題したコラムに連載しています。今年度は 51 回連載しました。

エ ホームページ・ポータルサイトの運営

(ア) ホームページ（ボランティア・市民活動部門）

年 度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	前年度比較（増減）
アクセス件数	49,371 件	51,194 件	54,020 件	2,826 件

(イ) 応援ナビかわさき

川崎市内における市民活動のポータルサイトとして役立つよう、イベント・講座・、ボランティア募集、団体詳細、民間助成金、最新情報を迅速に掲載するとともに、コンテンツの充実に努めました。

年 度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	前年度比較（増減）
アクセス件数	37,327 件	44,313 件	44,008 件	△305 件

(ウ) メールマガジンの発行

新着情報などをまとめたメールマガジンをメルマガ会員（220 人）あてに月 1 回配信しました。

(3) 調査・研究事業

ア SNS などの効果的活用

情報発信ツールとして、新たにセンターのフェイスブックページ、ブログを開設しました。

イ 小中高生及び大学生のボランティア活動への参加促進

夏休みのボランティア参加促進のため、夏休み期間に特化した募集冊子「ボラ・ナビ 2016 夏休み版」を発行し、同じ内容の WEB 版も作成しました。6 月から 9 月までのアクセス数は 9,303 件でした。

ウ NPO 法人のリクルーティング実態調査の実施

NPO 法人に対して適切な人材紹介及び人材育成を実施する際の一助とするため、市内の NPO 法人（352 法人）を対象に、「NPO 法人のリクルーティング実態調査」として、法人が求めている人材（技能）を調査し、75 法人から回答がありました。

エ 協働・連携ポータルサイトの構築に向けた検討

川崎市が平成 29 年度に開設する協働・連携ポータルサイトについて、川崎市とともに機能やコンテンツなどに関して共同研究を行いました。

(4) 交流促進事業

ア ごえんカフェ（市民活動交流会）の開催

分野・領域・地域を越えて、市民活動に関心のある方や市民活動団体等の相互交流・連携の

促進を図るためのイベントとして、ごえんカフェ（市民活動交流会）「夏」を8月18日（木）18:30～20:00、85人参加、「秋」を10月8日（土）15:00～17:30、67人参加の2回開催し、各団体間での情報交換や交流の場として活用されました。（※参加人数にセンター職員含む。）

イ ごえん楽市（かわさきボランティア・市民活動フェア）の開催

「年に一度！川崎市内の市民活動がここに！」をテーマに、ごえん楽市（かわさきボランティア・市民活動フェア）を平成29年1月28日（土）、中原市民館・かわさき市民活動センターを会場に開催しました。ダンスラボラトリーによるオープニングパフォーマンスをかわきりに、災害ボランティア活動紹介、障害者地域作業所作品展示・販売、川崎市NPO応援キャラクターと記念撮影、集めて支援！回収（古本、CD、使用済み切手・はがき等）、スタンプラリー、団体パネル展示、団体企画、フリーマーケットなど多彩な催し・出展がありました。

出 展 内 訳	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
パ ネ ル 展 示	43 団体	49 団体	54 団体
団体企画（講座等）	25 団体	35 団体	39 団体
フリーマーケット	5 団体	7 団体	10 団体
参 加 者 数	約 1,800 人	約 1,800 人	約 1,700 人

(5) 研修・相談事業

ア 市民活動入門講座の開催

学校の夏休み期間中に、ボランティア・市民活動を始めようとしている中学・高校・大学生等を対象に「ボラ・ナビ 2016 夏休み版」を使い、活動の意義や注意点などを講義する入門講座を7月10日（日）午後に開催し、3人が参加しました。

イ パワーアップセミナーの開催

主に市民活動を行っている方々を対象にパワーアップセミナーを開催しました。

① 当センター単独開催セミナー

開 催 日	内 容		参加数	開催場所
6月4日	テーマ	市民活動団体の組織力強化～"人"で変わる組織マネジメント～	23 人	センター 会 議 室
	講 師	下川原 彩（認定NPO法人キーパーソン 21 理事）		
7月2日	テーマ	生き生きとした活動をするための組織力強化	16 人	
	講 師	呉 哲煥（NPO法人CRファクトリー代表）		
7月30日	テーマ	地域メディアの積極的活用術	17 人	
	講 師	宮川真理・涌井克行（イッツコミュニケーションズ(株)）		
9月3日	テーマ	驚くほど人が集まる！チラシの作り方	30 人	
	講 師	野竿達彦（(株)Y-プロデュース）		
10月1日	テーマ	誰でもできる！団体のための会計（基礎編）	21 人	
	講 師	原 淳子（原淳子税理士事務所）		
10月22日	テ ー マ	驚くほど人が集まる！イベントの企画・運営	17 人	
	講 師	呉 哲煥（NPO法人CRファクトリー）		

② 川崎市社会福祉協議会との共催セミナー

開催日	内 容		参加数	開催場所
11月26日	テーマ	明日からでも実践できる！団体の活動をひろげるコツ	10人	エポック 中原
	講師	みどりなくらし&川崎介護福祉士会		
12月3日	テーマ	だれでもできる！団体のための会計（応用編）	14人	
	講師	（原淳子税理士事務所）		
1月14日	テーマ	Face book で情報発信	35人	エポック 中原
	講師	酒井隆（(株)世田谷社）		
2月4日	テーマ	団体のための事業報告書作成術	21人	
	講師	手塚明美（認定 NPO 法人藤沢市市民活動推進連絡会）		

ウ NPO 法人スタッフ養成講座

NPO 法人の寄付者等の獲得と適正運営のために必要な情報を網羅的・実務的に提供しながら、新たに活動に参加する市民（スタッフ）の発掘を促進することを目的に実施しました。

10月11日・18日・25日（各回火曜日午後6時30分～9時）と全3回で開催しました。

開催日	内 容		参加数	開催場所
10月11日	テーマ	NPO法人の事務の全体像	13人	当センター 会議室
	講師	笹子まさえ（かわさきNPO法人連絡会副代表・認定NPO法人アクト川崎事務局長）		
10月18日	テーマ	日々の実務	9人	
	講師	笹子まさえ		
10月25日	テーマ	事業年度が終了したとき	10人	
	講師	笹子まさえ		

エ 市民記者養成講座の開催

現役の記者の方や、広告・広報の専門知識を持つ方を講師に招へいし、記事の取材や編集方法等についての基礎講座を平成29年1月18日から2月15日までの間に5回開催しました。16人の受講者のうち、12人が平成29年度から新たに市民記者として加わります。

オ 市民活動相談業務の実施

窓口や電話による相談の他、活動経験のある市民5人による市民活動に関する相談を当センター窓口で実施しました。延べ60件の相談があり、内訳は窓口相談40件、電話相談17件、その他3件で、内42件を職員が対応し、18件を相談員が対応しました。

カ NPO法人の手続に関する相談の実施＜川崎市と共催＞

センター職員と川崎市職員によるNPO法人の設立などに関する出張相談を実施し、13件（※）の相談がありました。※6月20日高津4件、7月20日麻生1件、9月21日幸1件、1月18

日高津 4 件、3 月 13 日多摩 3 件

また、東京地方税理士会との共催で実施している N P O 法人のための会計相談には 4 件、2 月から実施した行政書士による法務相談には 1 件の相談がありました。

キ 職員及び役員の派遣

各団体の要請に基づき、職員又は役員を講師等として派遣しております。

(ア) 職員派遣状況

開催日	主催者	テーマ	対象	開催場所
6 月 7 日	神奈川県立図書館 生涯学習サポート課	高校生ボランティア活動出張教室 「ボランティア活動について」	1 年生	川崎市立 川崎高等学校
平成 29 年 1 月 26 日、 2 月 23 日	川崎市高津市民館	シニアの社会参加支援事業 「ようこそ地域デビュー 仲間を作ろう 体験しよう」	50 歳以上の方	高津市民館

(イ) 役員派遣状況

開催日	主催者	テーマ	対象者	開催場所
6 月 2 日	麻生区役所 生涯学習支援課	識字ボランティア入門研修 「ボランティアとしての心構え」	市民	麻生市民館
7 月 8 日	多摩区役所 こども支援室	多摩区子育て支援者養成講座 「ボランティア活動とは～子育て支援のあり方～」	市民	多摩区役所
9 月 30 日	中原区役所 保健福祉センター	中原区食生活改善推進員ボランティアフォーラム講座「ボランティア活動が続けるためのコツと心構え」	市民	中原区役所
10 月 6 日	中原区役所 生涯学習推進課	中原市民館エンパワメント研修 「市民活動って何だ！」 第 1 回オリエンテーション	市民	中原市民館
10 月 21 日	(公財)川崎市公園 緑地協会	里山ボランティア育成講座 「ボランティアの心得」	市民	麻生市民館
11 月 24 日	中原区役所 生涯学習推進課	中原市民館エンパワメント研修 「市民活動って何だ！」 第 7 回まとめ～今回の学習の活かし方を考える～	市民	中原市民館
11 月 25 日	健康福祉局 長寿社会部	いきいきリーダー養成講座・ベーシックコース「市民活動をより効果的に行うために」	市民	福祉パル中原
11 月 29 日	中原区役所まちづくり推進部企画課	中原区市民提案型事業説明会 講座「アイデアをカタチに！事業企画と提案のコツ」	市民	中原区役所
11 月 30 日	宮前区保健福祉センター	宮前区健康づくりボランティア養成講座 「健康づくりと地区組織活動」	市民	宮前区保健福祉センター
1 月 21 日	幸区生涯学習支援課 日吉地区担当	日吉分館 市民エンパワメント研修 第 3 回 「事業開催当日までの準備」	市民	日吉分館

(6) 連絡調整事業

ア 川崎市社会福祉協議会との連絡調整会議の開催

平成 28 年 4 月 19 日に当センター会議室において、川崎市社会福祉協議会・ボランティア活動振興センターとの連絡調整会議を開催し、事業計画書についての情報交換及び共催事業についての調整等を行いました。

イ 川崎防災ボランティアネットワークの運営

団体間の情報交換と連携協力を図るため、定例会を5月17日に開催し、14団体の参加がありました。

また、市からの要請に基づき、平成28年度川崎市総合防災訓練（多摩区、8月28日実施）に参加・協力しました。

ウ 大学と市民活動団体との連携・協働事業の支援促進

専修大学ネットワーク情報学部との連携による市民活動団体への広報支援事業を毎年度実施しています。平成28年度10団体の参加協力を得て、映像作品や団体パンフレットの作成支援を行い、6団体の映像作品が第1回かんとうNPO映像祭において入賞し、うち1団体が優秀賞を受賞しました。

エ 市・区の市民活動支援担当者との定期的情報交換会等の開催

市民活動推進課（市民・文化局）との定例会を6回開催しました。区役所の市民活動支援担当者や中間支援組織職員と市民活動支援に関する情報交換会を開催しました。

(7) かわさき市民公益活動助成金運営事業

平成28年度のかわさき市民公益活動助成金運営事業に関わる募集、審査等の実施状況は、次のとおりです。

なお、今年度から事業助成とは別に団体の組織基盤強化のための助成メニューを新設しました。

募 集 期 間	平成27年11月25日～平成28年2月29日
審 査 方 法	書類審査及び公開プレゼンテーション
審 査 委 員 会	第一次審査・書類審査（3月4日、9日） 第二次審査・公開プレゼンテーション（4月16日、17日）
審 査 結 果	スタートアップ助成 ・申請24団体 交付23団体
	ステップアップ助成（30・100・200） ・申請48団体 交付40団体
	組織基盤強化助成 ・申請12団体 交付11団体
交 付 総 額 （ 決 算 額 ）	19,413,761円 （内訳＝川崎市：16,088,761円・河川財団：3,325,000円）
そ の 他	組織基盤強化助成に向けた取り組み ①「組織基盤強化」ワークショップの実施 日時：6月5日 午後1時～4時半 場所：かわさき市民活動センター会議室 講師：呉 哲煥（NPO法人CRファクトリー代表） 参加者：10名 ②「組織基盤強化」支援サービス相談会の実施 日時：7月18日 午後1時～4時 場所：かわさき市民活動センター会議室・フリースペース 参加者：31名 出展数：10企業・団体

また、平成27年度公開事業報告会を4月10日に実施しました。

(8) 川崎災害ボランティア活動助成事業

4月14日に発生した熊本地震に対する被災地支援活動として、2団体の活動に助成しました。その際、市民から「復興支援ボランティア活動募金」を募り、団体へ交付しました。そのほか、台風10号によって被害を受けた地域での復興支援活動にも助成しました。

期 間	申 請 件 数	交 付 金 額	昨年度実績
平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月	3 件 (2 団体)	111,648 円	85,810 円

(9) 川崎市市民活動補償制度運営事業

期 間	申請件数	支払件数	支 払 額	昨年度実績
平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月	26 件	21 件	2,562,028 円	5,826,482 円

なお、平成 25 年度から町内会等から要請がある場合は、当センター職員を派遣し、本事業についての説明等を行い、制度の周知・広報に努めています。

開 催 日	主 催 者	対象者	開催場所
5 月 24 日	中原区地域振興課	市民	中原区役所
5 月 26 日	建設緑政局みどりの協働推進課	市民	中原区役所
12 月 1 日	川崎市公園緑地協会	市民	多摩区役所

(10) 賛助会員の確保

種 別	会 費 (1 口)	平 成 2 7 年 度 末			平 成 2 8 年 度 末		
		会員数	口 数	賛助総額	会員数	口 数	賛助総額
個 人 会 員	1,000 円	81 人	206 口	206,000 円	65 人	163 口	163,000 円
団 体 会 員	5,000 円	35 団体	42 口	210,000 円	33 団体	39 口	195,000 円
合 計		116 人・団体	248 口	416,000 円	98 人・団体	202 口	358,000 円

(11) 募金・寄付等の取組

ア ボランティア・市民活動募金

市民活動推進事業への寄附等を募るため、募金箱を当センター窓口やご協力を得た市内事業者の各店舗へ設置しています。募金箱その他を合わせて、平成 28 年度は 152,156 円の寄付等がありました。

また、一般社団法人生命保険協会神奈川県協会（幹事会社明治安田生命保険相互会社川崎支社）から、200,000 円の寄付がありました。

イ 熊本地震復興支援ボランティア活動募金

被災地域への復興復旧、被災者への支援を行うため、当センターに募金箱を設置したほか、預金口座も開設し「復興支援ボランティア活動募金」を募りました。平成 29 年 3 月末現在、34,236 円の寄付がありました。この募金は「災害ボランティア活動助成金」に加え、復興支援活動を行い助成金申請のあった団体に交付しました。。

(12) 川崎市からの受託事業

ア 中原区子育て支援者養成事業

中原区が地域課題対応事業の一つとして実施している「平成 28 年度子育て支援者養成事業」を平成 27 年度に引き続き 28 年度も受託しました。本事業を地域子育て力向上事業の一つと位置づけ、地域のネットワークやコミュニティづくりのリーダー役を担える人材の育成を目標に取り組みました。

一般向け子育て支援者養成講座

開催日		内 容		参加数	開催場所
火曜コース	木曜コース				
9月27日	9月29日	テーマ	・オリエンテーション・自己紹介 ・中原区の子育て支援施策について	火曜コース 11人 木曜コース 12人	当センター 会議室ほか
		講 師	・中原区役所職員、 当センター講座担当		
10月11日	10月13日	テーマ	・子育てを取り巻く環境の変化と課題について学ぶ ・子育て中の母親への理解と支援のあり方を考える		
		講 師	・山澤和子（日本女子大学客員准教授）		
10月5日～ 21日	10月5日～ 21日	テーマ	・子育て支援場所見学（都合のつく日参加）		
		講 師	・子育て支援活動団体（13団体）		
10月18日	10月20日	テーマ	・子育て支援者養成講座修了生および子育て支援 活動団体との交流		
		講 師	・子育て支援者養成講座修了生 ・子育て支援活動団体		
10月25日	10月27日	テーマ	・振り返りとまとめ ・今後について		
		講 師	・当センター講座担当		

(13) 職員研修

職員の資質向上や必要とする知識習得等を目的に、市内外で開催される研修やシンポジウムなどに派遣しました。

開催日	主催者	内 容	開催場所
5月11日	東京ボランティア・市民活動センター	中間支援だからできること～身近な困りごとから考える～	飯田橋セントラルプラザ
5月20日	日本財団CANPAN	NPO フォーラム「広報を溺愛する人の時間」	日本財団ビル
5月25日	東京ボランティア・市民活動センター	中間支援には可能性がいっぱい～地域の“ひと”とのつながりの先に～	飯田橋セントラルプラザ
6月25日	東京ボランティア・市民活動センター	ボランティアコーディネーションカ3級検定	飯田橋セントラルプラザ
9月1日	日本財団CANPAN	NPO フォーラム「NPO・地域づくりのための社会調査入門講座」	日本財団ビル
11月4日	日本財団CANPAN	魅力が伝わるNPOの三つ折パンフレットづくり	日本財団ビル
2月8日	東京ボランティア・市民活動センター	未来へつながる事業評価	四谷ひろば
2月14日	多摩区役所生涯学習支援課	地域と行政、力を合わせて素敵なまちを！	多摩市民館

(14) その他

ア 川崎市社会福祉事業功労者表彰（市長表彰）

子育てママのタウン情報誌発行、子育てサロン(広場)や子育て支援講座開催等の活動をしている「ままとんきっず」を推薦し、長年の子育て支援活動が評価され受賞しました。

イ 公益財団法人社会貢献支援財団 社会貢献者表彰

自らの辛いうつ病体験をきっかけに、ケアサロンや学習会の開催などの活動をしている「うつ病支援の会」の代表田中元介さんを推薦し、うつ病に対する理解や支援スキルの啓発活動が評価され受賞しました。

ウ 神奈川新聞社 神奈川地域社会事業賞

活字等による情報取得が困難な視覚障がい者をはじめ、高齢者や入院中の子どもたちなどを対象に、出前朗読、本や新聞などを録音し対象者に届けたり、対象者との親睦を図るための様々な行事を開催している朗読ボランティアグループ「さんざし」を推薦し、地域社会への貢献が評価され受賞しました。

2 青少年健全育成事業

これまでの経験と知識を活かし、こども文化センター52 館・わくわくプラザ 101 施設の適切な管理・運営に努めました。平成 28 年度の主な取組は次のとおりです。

(1) こども文化センター事業

ア 基本方針

こども文化センターでは、子どもたちの安全確保を旨とし、子どもたちが安心して楽しく過ごせる居場所づくりに取り組みました。また、遊びや行事等にも工夫を凝らし、子どもたちが楽しく過ごせるよう努め、併せて、地域の活動拠点としての利用促進にも取り組みました。

こども文化センター利用状況推移表

利 用 者 別	26 年度 (53 館)	27 年度 (53 館)	28 年度 (52 館)	前年度比較 (増減)
乳 幼 児	287,300 人	306,541 人	310,189 人	3,648 人
小 学 生	721,558 人	735,155 人	707,812 人	△27,343 人
中 学 生	208,198 人	211,417 人	208,828 人	△2,589 人
高 校 生	41,433 人	42,854 人	41,996 人	△858 人
成 人	404,388 人	416,643 人	412,913 人	△3,730 人
利用者合計	1,662,877 人	1,712,610 人	1,681,738 人	△30,872 人
内団体利用人数	331,623 人	321,396 人	310,638 人	△10,758 人

※ 28 年度より小杉こども文化センターが休止となり、52 館受託になりました。

※ 27 年度の利用状況から小杉こども文化センター分を差し引き今年度と比較した場合、利用者合計は 5,885 人増、団体利用人数は 2,960 人減となりました。

イ 安全・安心の確保

児童の安全・安心の確保は本事業の基本であり、職員一人ひとりがそのことを常に念頭に置いて日々の業務にあたるよう心がけ、また事故ゼロ運動を推進するなど、本部・各館一丸となって事故防止に取り組みました。

こども文化センターでは、遊具の安全確認と不具合箇所の整備を徹底するとともに、定期的に施設の内外を見回りするなど、事故防止に努めました。利用児童が怪我を負った場合は「事故対応マニュアル」にしたがい、迅速かつ適切な対応に努めました。

災害に対する備えとして「災害時対応マニュアル」にしたがい、備蓄品の確認や避難訓練を実施するとともに、災害伝言ダイヤルを活用した連絡手段を利用者に周知しました。

不審者対策として、新たに「こども文化センター版不審者マニュアル」を策定し、不審者侵入の抑制に努めました。また、利用児童及び利用者に安全への意識を促すため、児童と共に地域の危険箇所を確認し、安全マップの作成・掲示を推進しました。

食物アレルギーへの対応については、次の基本ルールを策定し、子どもたちのアレルギー事故防止に取り組みました。

施 設 名	対 応 策
こども文化センター	①当財団が単独で主催する行事等で食物を提供する場合は、事前申込制とし、アレルギーの確認については、児童ではなく、保護者にいただくことを基本とする。 ②共催行事等で、食物を提供する場合は、上記ルールの適用を保護者や関係者の理解を得ながら進める。
わくわくプラザ 共	①アレルギーを持つ児童が差別されないよう、食物アレルギーについての啓発活動に努める。 ②児童がアナフィラキシーショックを起こした場合に備え、アドレナリン自己注射薬（エピペン）の投与等、応急処置ができるようにアレルギー研修の受講を職員に義務付ける。

ウ 不登校児への対応

不登校児が来館した際に備え、より適切な対応ができるよう、専門研修の実施等、職員のスキルアップに取り組みました。また、不登校児の利用があった場合は、状況を把握し学校等関係機関と連携し、対応しました。

エ 複数館による合同行事の開催

（ア）全市域合同事業の取組

① ゴーゴー☆かわさキッズ ～マンカラ大会・子どもサミット～

マンカラ大会・子どもサミットは、平成28年12月10日（土）に中原市民館で開催しました。マンカラ大会の予選参加者（各館の計）は5,015名、子どもサミットの各施設での話し合い及び活動参加者（各館の計）は14,710名、当日のマンカラ本選参加者、サミット代表参加者及び応援参加者等の計は521名、合計20,246名の子どもたちの参加がありました。また、例年の内容に加え、世界の様々なボードゲームが体験できる「ボードゲームパーティ」のブースを新設し、好評を得ました。

② ゴーゴー☆かわさキッズ ～BUNBUNステージ～

BUNBUNステージは、平成29年1月28日（土）に高津市民館で開催され、出演者のその他、保護者を含め総勢937名の参加がありました。

出演は、25団体（うち世田谷区喜多見児童館2団体）382名で、創作ダンス、けん玉、フラダンス、空手演武など様々なパフォーマンスが舞台の上で繰り広げられました。

特に今年度は、小学生バンド2団体が出演したことにより、音楽室活動の広がり示すとともに、新たな取り組みとして、こども文化センターで活動する文化系クラブの活動を壁面に掲示し、こども文化センターのクラブ活動をアピールすることができました。

（イ）区及びグループ単位の合同事業

同一区内又はグループ内児童の親睦と交流の輪を広げることを目的として、各こども文化センターが様々な行事に取り組みました。

① 区単位の合同事業

区	開催日	内 容	参加数	開催場所
川崎区 9 館	8月8日	舞台鑑賞会 りそうのくに	274人	田島支援学校 館
	11月5日	合同事業 スマイルフェスタ2016 9館ミラクルファンタジー	386人	富士見中学校 館

区	開催日	内 容	参加数	開催場所
幸 区 6 館	8月9日	舞台鑑賞会 アンディ先生のマジックショー	155人	幸 市 民 館 大 会 議 室
	12月17日	合同事業 夢と希望のまち ～さいわい区幸福町～	236人	日 吉 小 学 校 体 育 校 館
中 原 区 8 館	8月16日	舞台鑑賞会 アンディ先生のマジックイリュージョンショー！	452人	川崎市総合福祉センター (エポックなかはら)
	11月19日	合同事業 なかはら☆キッズストリート～君もお仕事してみよう！～	745人	住 吉 小 学 校 体 育 校 館
高 津 区 7 館	8月18日	舞台鑑賞会 ゆうさんのパントマイムと ふしぎなマジック&デジタル紙芝居	532人	川崎市総合福祉センター (エポックなかはら)
	9月17日	合同事業 続・名探偵は君だ！逃げた怪盗Xを探せ！ ～ミッションクリアゲーム～	242人	東 高 根 森 林 公 園
宮 前 区 6 館	8月17日	舞台鑑賞会 アンディ先生のマジック& イリュージョンショー！	440人	川崎市総合福祉センター (エポックなかはら)
	9月17日	合同事業 ドッチビー大会～みやリンピックシーズン7～	258人	宮前スポーツセンター
多 摩 区 7 館	9月24日	合同事業 多摩ギャラクシーバトル～7館対抗大運動会～	160人	中 野 島 小 学 校 校 庭
	12月3日	舞台鑑賞会 ばけものづかい	238人	東生田小学校体育館
麻 生 区 8 館	9月24日	合同事業 キッズフェスバル2016 ～魔法学校・新たなる旅立ち～	286人	王禅寺ふるさと公園
	2月4日	舞台鑑賞会 あいさつのきらいな王さま	244人	麻生小学校体育館

② グループ単位の合同事業

グループ	開催日	内 容	参加数	開催場所
川 崎 区 第 1 G	6月25日	3館GODOデイキャンプ	58人	平和島公園キャンプ場
	7月9日	こぶんらんど	97人	日進町こども文化センター
	8月23日	食育おでかけ講座	80人	川崎市立川崎高等学校
	12月26日	カローリング大会	63人	田 島 小 学 校 体 育 校 館
	3月27日	3館GODOマンカラ大会	70人	旭町こども文化センター
川 崎 区 第 2 G	9月18日～ 9月19日	E-じゃんキャンプ2016	59人	横浜市こども自然公園青少年 野 外 活 動 セ ン タ ー
	10月22日	E-じゃんけん玉 ～けん玉パークで遊ぼう！～	43人	東 門 前 小 学 校 ア リ ナ
	12月26日	おと絵がたり	36人	藤崎こども文化センター

グループ	開催日	内 容	参加数	開催場所
川 崎 区 第 3 G	7 月 27 日	わくわくマンカラ大会	96 人	東小田小学校わくわくプラザ
	9 月 24 日	さんさんグループキャンプ 2016	46 人	横浜市三ツ沢公園青少年野外活動センター
	11 月 26 日	オータムフェスタかわさき	129 人	小 体 田 小 育 学 校 校 館
	12 月 27 日	わくりんぴっく 2016	89 人	小 体 田 小 育 学 校 校 館
幸 区 第 1 G	11 月 19 日	はっぴーうんどうかい	55 人	戸 手 小 育 学 校 校 館
	12 月 26 日	わくわく対抗ドッジボール大会	137 人	戸 手 小 育 学 校 校 館
	2 月 4 日	♪♪♪はっぴーらいぶ♪♪♪	72 人	南河原こども文化センター
幸 区 第 2 G	7 月 1 日~ 7 月 2 日	ハッピーキッズキャンプ 2016	59 人	横浜市こども自然公園青少年野外活動センター
	10 月 19 日	♪ハッピーミーティング 2016♪	51 人	南加瀬こども文化センター
	1 月 21 日	ドッジボール大会	78 人	南 加 瀬 小 学 校 校 館
中 原 区 第 1・2 G	12 月 17 日	橘高校吹奏楽部コンサート	107 人	川 崎 市 立 橘 高 等 学 校 第 2 ア リ ー ナ
	1 月 6 日	新春むかしあそびゲームラリー	110 人	住 吉 小 育 学 校 校 館
中 原 区 第 2 G	9 月 28 日	マンカラ交流戦	45 人	井田こども文化センター
中 原 区 第 3 G	5 月 26 日 6 月 2 日	びっくりばこ	167 人	玉川こども文化センター
	10 月 15 日 ~10 月 16 日	海空キャンプ	67 人	三 浦 ふ れ あ い の 村
	12 月 26 日	なかよしカップ こ文対抗運動会	74 人	平 間 小 育 学 校 校 館
中 原 区 第 4 G	7 月 26 日	カレー大作戦	74 人	大戸こども文化センター
	9 月 7 日	乳幼児親子と高校生のふれあい交流会	44 人	新城こども文化センター
	1 月 5 日	わくわく交流会	116 人	大 戸 小 育 学 校 校 館
高 津 区 第 1 G	7 月 1 日	あついで！ドッジスタジアム	102 人	下作延小学校体育館
	10 月 8 日	野外活動 自然に親しむどんぐり探検隊	39 人	黒川青少年野外活動センター
	12 月 26 日	12 月のおくりものはさかな博士になろう & お笑いショー	163 人	高津こども文化センター
高 津 区 第 2 G	7 月 1 日	第 4 回わくりんピック	88 人	東 高 津 小 学 校 体 育 館
	10 月 8 日	野外活動 くろがねワンダーランド	37 人	横 浜 市 く ろ が ね 青 少 年 野 外 活 動 セ ン タ ー
	11 月 26 日	ニヶ領用水ウォッチフォーラム ニヶ領用水クリーン大作戦	29 人	ニヶ領用水沿い
	12 月 26 日	ふれあい囲碁	38 人	東高津こども文化センター
	2 月 25 日	ニヶ領用水ウォッチフォーラム ニヶ領用水クリーン大作戦	32 人	ニヶ領用水沿い

グループ	開催日	内 容	参加数	開催場所
高 津 区 第 3 G	8月6日～ 7日	ともだち倍増計画・サマーキャンプ 2016	57人	黒川青少年野外活動センター
	1月14日	ともだち倍増計画・ドッジボール大会 2017	108人	末 長 小 学 校 体 育 館
	2月4日	ともだち倍増計画・東芝未来科学館へ行こう！	52人	東 芝 未 来 科 学 館
宮 前 区 第 1 G	7月22日～ 7月23日	おとまりだ！キャンプだホイ！	60人	青 少 年 の 家
	11月19日	川崎北高等学校吹奏楽部によるオータムコンサート&絵本の読み聞かせ	74人	有馬こども文化センター
	2月11日	防犯スポーツプロジェクト	55人	宮 崎 小 学 校 体 育 館
宮 前 区 第 2 G	7月31日	ら・ら・らふれんど デイキャンプ 2016	36人	黒川青少年野外活動センター
	12月26日	ら・ら・らふれんど けん玉&カルタ大会	63人	土 橋 小 学 校 体 育 館
	1月6日	ら・ら・らふれんど 新春運動会	81人	平 小 学 校 体 育 館
多 摩 区 第 1 G	6月11日	夜のおさんぽ I Nホテルの国	40人	生 田 緑 地
	7月16日 ～17日	防災宿泊体験	35人	長 尾 第 1 公 園 及 び 長尾こども文化センター
	11月12日	ドッジボール☆チャンピオンシップ	53人	柊形こども文化センター
	1月6日	スポーツスタッキング☆チャンピオンシップ	35人	長尾こども文化センター
	3月4日	アストロテラス de 星空ウォッチ	40人	生 田 緑 地 かわさき宙と緑の科学館
多 摩 区 第 2 G	6月18日	ホテルの国でナイトハイク	43人	生 田 緑 地
	7月1日	黒川&真光寺公園へ行こう	47人	黒川青少年野外活動センター 及 び 真 光 寺 公 園
	3月4日	星空のギャラリー@かわさき宙と緑の科学館	40人	生 田 緑 地 かわさき宙と緑の科学館
多 摩 区 第 3 G	8月9日	川崎港を見てみよう！外国船見学会	22人	川 崎 港
	1月7日	たまリンピック 2016	51人	東 菅 小 学 校 ア リ ー ナ
	3月27日	地域ふれあいステージ	141人	西 菅 小 学 校 体 育 館
麻 生 区 第 1 G	7月1日	レッツ！チャレカラカップ 2016 マンカラ交流戦&流しそうめん	111人	東百合丘こども文化センター
	10月15日	ただいま逃走中！！&カレー大作戦 2016	129人	百 合 丘 第 三 公 園 百合丘こども文化センター
麻 生 区 第 2 G	6月18日	OH！カーニバル巨大迷路で宝さがし	69人	王禅寺中央小学校体育館
	10月24日	OH！カーニバル！おかにーのハロウィン パーティ	68人	王禅寺中央小学校体育館 王禅寺こども文化センター
麻 生 第 3 G	6月25日 ～26日	フレンズキャンプ 2016	39人	横浜市三ツ沢公園青少年野外 活 動 セ ン タ ー
	10月15日	フレンズステージ 2016	139人	麻 生 小 学 校 体 育 館
	1月14日	フレンズカップ 2016	41人	真福寺中央小学校体育館

オ 中学生及び高校生の利用促進

中学生・高校生の利用に際しては、主体的な活動の尊重・支援を基本とし対応しました。

また、異年齢交流行事として「中学生・高校生と乳幼児のふれあい事業」「たこ焼きパーティー」等を実施したほか、「こ文でライブ」「高校生交流会」等、様々な工夫を凝らした行事に取り組み、利用の促進を図りました。

音楽室が設置されている南河原、宮崎及び白山こども文化センターについては、中学生・高校生のほか、地域音楽活動の拠点としての利用促進を図りました。

音楽室の利用状況

施設名	利用者	26年度	27年度	28年度	前年度比較 (増減)
南河原	小学生	18人	25人	391人	366人
	中学生	226人	158人	293人	135人
	高校生	490人	422人	671人	249人
	一般	477人	555人	626人	71人
	合計	1,211人	1,160人	1,981人	821人
	団体数	647団体	679団体	871団体	192団体
宮崎	小学生	2人	10人	31人	21人
	中学生	84人	82人	36人	△46人
	高校生	251人	379人	469人	90人
	一般	781人	975人	780人	△195人
	合計	1,118人	1,446人	1316人	△130人
	団体数	876団体	994団体	929団体	△65団体
白山	小学生	6人	6人	6人	0人
	中学生	23人	24人	82人	58人
	高校生	1,023人	1,009人	706人	△303人
	一般	1,212人	1,220人	1152人	△68人
	合計	2,264人	2,259人	1946人	△313人
	団体数	1,109団体	1,135団体	1150団体	15団体
計	小学生	26人	41人	428人	387人
	中学生	333人	264人	411人	147人
	高校生	1,764人	1,810人	1,846人	36人
	一般	2,470人	2,750人	2,258人	△492人
	合計	4,593人	4,865人	5,243人	378人
	団体数	2,632団体	2,808団体	2950団体	142団体

カ 地域活動拠点としての利用推進

こども文化センターは地域の児童の健全育成に寄与するという目的施設ですが、児童の利用が少ない時間帯を中心として、引き続きホームページで空き室の状況を把握できるようにするなど利便性を向上し、地域のボランティアや市民活動団体等の方々の利用促進にも取り組みました。

平成28年度は、延べ21,222団体（1館平均408団体）の利用があり、会議や打合せのほか、洋裁、オカリナ、生花といった趣味の活動の場としても利用されました。

例年、そうした利用者の一部の方には、子どもたちに卓球の指導や音楽鑑賞会、乳幼児への読み聞かせ等、ボランティアとして様々なご協力をしていただきました。

団体利用状況

団 体 種 別	26 年度 (53 館)	27 年度 (53 館)	28 年度 (52 館)	前年度比較 (増減)
青 少 年	4,950 団体	4,896 団体	4,490 団体	△406 団体
市 民 活 動	10,552 団体	10,699 団体	10,350 団体	△349 団体
幼 児 G	6,428 団体	6,131 団体	5,960 団体	△171 団体
そ の 他	565 団体	494 団体	422 団体	△72 団体
計	22,495 団体	22,220 団体	21,222 団体	△998 団体

※28年度より小杉こども文化センターが休止となり、52館受託になりました。

※27年度の団体利用状況から小杉こども文化センター分を差し引き今年度と比較した場合、団体利用数は265団体減となりました。

キ 乳幼児の子育て支援

平成28年度は、延べ5,960団体（1館平均114団体）の乳幼児サークルの利用がありました。各館では、場の提供による支援に加え、館独自の乳幼児向け行事として「いのちの大切さを伝える読み聞かせ」「親子 de フラワーアレンジメント」「食育講座」等を実施するほか、関係諸団体の協力を得た行事として「ひだまりニコニコ」「大戸双子の会」等を実施しました。また、地域子育て支援会議等に参加し、情報交換を行うと共に、地域の子育てネットワーク作りにも積極的に取り組みました。

ク 地域と一体となった事業運営の推進

(ア) 運営協議会との連携強化

全てのこども文化センターでは、地域と連携した館運営を行うために、地域の方々に参加していただき運営協議会を設置しています。運営協議会では、こども文化センターの様々な課題について協議を行い施設利用のルール作りや地域団体との橋渡しを担っていただいているほか、行事等にも積極的に参画していただくなど、その役割は多岐にわたっています。

平成28年度は、全市で281回（各館平均5回）の運営協議会が開催され、延べ2,957名の運営委員の方にご参加いただき、こども文化センターを巡る様々な課題について協議をしていただきました。

また、各館で実施する「こどもまつり」「さんま井まつり」「こ文 de ハロウィン」「羽根つき・かるた大会」等の特色ある行事に際しては、運営協議会の委員の方々に、多くのご支援・ご協力をいただきました。

なお、区ごとに各館の運営協議会代表者が参加する「区運営協議会」を開催し、各館で取り組んでいる行事の計画・報告や各館共通の課題等について協議していただいております。平成28年度は、全区で10回開催され、延べ77名の委員の方にご参加いただきました。

各館の運営協議会及び区運営協議会で出された意見や結論を集約し、行事の日程や内容などを精査し、こども文化センターの運営に活かしました。

(イ) 地域関係機関・関係団体との連携の強化

こども文化センターの円滑な事業運営を図るため、区役所（保健福祉センター・地域みまもり支援センター等）、地域団体（子ども会等）が実施する行事に積極的に参加し、連携強化に努めました。

主 催 者	開 催 日	内 容（総数）	参 加 数	開 催 場 所
川 崎 区	9月3日	かわさき区子育てフェスタ（1,900人）	1,107人	教 育 文 化 会 館
幸 区	2月25日	みんなで子育てフェアさいわい（600人）	200人	日 吉 分 館
中 原 区	11月26日	なかはら子ども未来フェスタ（3,500人）	300人	中 原 区 役 所
高 津 区	8月28日	高津区子どもフェア（1,300人）	278人	新二子橋下周辺
	11月19日	高津区子ども・子育てフェスタ（1,500人）	300人	高 津 市 民 館
多 摩 区	9月18日	たまたま子育てまつり（3,000人）	560人	多 摩 区 役 所
麻 生 区	9月17日	あさお子育てフェスタ（2,800人）	572人	麻 生 区 役 所
	3月12日	麻生区子ども会連合会こどもまつり（1,500人）	288人	麻 生 市 民 館

※参加数は、各此文から引率参加した児童数及び出店したブース等に参加した児童数の合計です。

また、川崎市には「こども文化センター」と、高齢者の心身の健康増進を図ることを目的とした施設「いこいの家」の合築施設が21か所あります。今年度、川崎市は合築施設の中から、藤崎、西加瀬、子母口、白幡台、錦ヶ丘こども文化センターを多世代の交流を目的としたこども文化センター・いこいの家の連携事業モデル施設としており「卓球交流会」「マジックショー」「収穫祭」「防災訓練・避難訓練」「囲碁教室」等の事業を実施し、こども文化センター利用者といこいの家利用者の交流を図りました。

(2) わくわくプラザ事業

ア 基本方針

わくわくプラザでは、すべての小学生を対象として受け入れを行っています。学校と連携し、子どもたちの様子や学校の月間スケジュール等を日常的に情報交換しながら、放課後・土曜・長期休業日等に安心して楽しく過ごせ、また保護者が安心して子どもを託すことができる事業運営を行いました。

また、夏休み等の長期休校期間には、子どもたちがわくわくプラザで落ち着いて過ごせる環境を整えるため、児童の健康増進と情緒の安定を目的として、朝、短時間で外遊びや室内遊び等を工夫して取り入れる「わくドキタイム」を実施し、その検証を行いました。

わくわくプラザ利用状況（101校）年間利用状況推移表

在 校 児 童 数	26 年 度	27 年 度	28 年 度	前年度比較（増減）
在 校 児 童 数	63,625 人	63,801 人	64,356 人	555 人
登 録 児 童 数	29,655 人 (866 人)	30,575 人 (872 人)	31,241 人 (908 人)	666 人 (36 人)
登 録 率	47%	48%	49%	1%
利 用 人 数	1,665,976 人 (72,805 人)	1,777,713 人 (73,261 人)	1,854,991 人 (80,497 人)	77,278 人 (7,236 人)
1 日 平 均 利 用 者 数	5,685 人 (248 人)	6,046 人 (249 人)	6,374 人 (276 人)	328 人 (27 人)

※（ ）内は特別な支援を必要とする児童の内数

イ 安全・安心の確保

児童の安全・安心の確保は本事業の基本であり、職員一人ひとりがそのことを常に念頭に置いて日々の業務にあたるよう心がけています。また、事故ゼロ運動を推進するなど、本部・各館一丸となって事故防止に取り組みました。

わくわくプラザでは、遊具の安全確認と不具合箇所の整備を徹底するとともに、児童全体を見守れるようなスタッフ配置を行っています。また、児童用ビブス・トランシーバー等の活用、外遊び前に準備体操を行うなど、事故防止策を講じ、利用児童が怪我を負った場合は「事故対応マニュアル」にしたがい、迅速かつ適切な対応に努めました。

防犯については、訪問者の目的や様子を把握するため、職員からあいさつを行うなど、不審者侵入を抑制に努めました。また、利用児童及び保護者に安全への意識を促すため、児童と共に地域の危険箇所を確認し、安全マップを作成・掲示しました。さらに、土曜日、長期休校期間及び子育て支援・わくわくプラザプラザ実施時間には、プラザ室玄関を施錠し、迎えに来た保護者の確認を行うなどの対応をしました。

災害に対する備えとして「災害時対応マニュアル」にしたがい、備蓄品の確認や避難訓練を実施するとともに、年2回、学校と災害時対応マニュアルの確認を行い、保護者に対しても、災害時等の対応や連絡、引き取り方法等を周知しました。

不審者情報については、神奈川県警察の「ピーガルくん・こども安全メール」を利用し、各わくわくプラザの職員が適切な対応がとれるようにするとともに、子どもの安全に関する様々な情報や指示を、適宜、本部から各こども文化センターを経由して各わくわくプラザに伝達し、事件・事故の予防、安全・安心の確保に努めました。

食物アレルギーへの対応については、次の基本ルールを策定し、子どもたちのアレルギー事故防止に取り組みました。

施設名	対応策
わくわくプラザ	①わくわくプラザ登録時にアレルギーを持つ子どもの保護者に「食物アレルギー調査票」の提出をお願いし、さらにおやつ申込時に、原材料名（成分表）が記載されたメニュー表をもとに、保護者にアレルギーチェックをお願いする。 ②子どもにおやつを配布するときには、必ず複数の職員が「食物アレルギー調査票」に基づきチェックします。アレルギーとなる成分が入っているおやつについては、当該児童の保護者に手渡す。このとき、おやつが食べられなかった児童には、十分な説明をする。
こども文化センター 共 通	①アレルギーを持つ児童が差別されないよう、食物アレルギーについての啓発活動に努める。 ②児童がアナフィラキシーショックを起こした場合に備え、アドレナリン自己注射薬（エピペン）の投与等、応急処置ができるようにアレルギー研修の受講を職員に義務付ける。

ウ 特別な支援を必要とする児童等への対応

平成28年度のわくわくプラザにおける特別な支援を必要とする児童登録数は908名でした。特別な支援を必要とする児童に対し、より適切な対応が行えるよう、元特別支援学校の教諭や小学校の校長経験者等の巡回相談員を8名配置しました。巡回相談員は、豊かな経験と専門知識を持ち、当該業務に従事するスタッフのアドバイザーとして、またスタッフ研修の講師として活躍しています。

また、学校との日頃からの連携・情報の共有に努めるとともに、発達相談支援センター・児童相談所・地域療育センター等の関係諸機関との交流・連携強化にも取り組みました。

エ わくわくプラザ学習タイムの実施

子どもたちの学習習慣の形成を図るため、引き続きボランティアや臨時職員からなる専任アドバイザーを配置し、落ち着いて自学・自習ができる時間と場所を確保し、学習タイムを実施しました。

オ 子育て支援・わくわくプラザ事業への対応

「子育て支援・わくわくプラザ事業」とは、川崎市が実施している事業で、就労等により、わくわくプラザの門限である午後6時までに児童の迎えが難しい保護者のため、午後7時までわくわくプラザを延長するサービスの事です。当財団は、この業務を川崎市から受託し、全わくわくプラザにおいて実施しました。

利用状況

種 別	26 年度	27 年度	28 年度	前年度比較 (増減)
登 録 児 童 数	2,207 人	2,431 人	2,482 人	51 人
	(78 人)	(73 人)	(69 人)	(△4 人)
延 べ 利 用 人 数	123,550 人	129,550 人	128,190 人	△1,360 人
	(5,940 人)	(5,144 人)	(3,887 人)	(△1,257 人)
1 日平均利用人数	506 人	533 人	536 人	3 人
	(24 人)	(21 人)	(16 人)	(△5 人)

※ () 内は特別な支援を必要とする児童の内数

(3) 地域子育て支援センター（連携型）事業

「地域子育て支援センター（連携型）」とは、川崎市が実施している地域子育て支援事業の一つで、比較的利用の少ない午前中のこども文化センターを利用し、子育て中の親子の交流の場や子育てに関する相談・援助の場として、また地域の子育て情報の提供の場として設置されています。当財団は、この業務を今年度、10ヶ所で受託し、「ふあみいゆ」という名称で週3日（9：30～12：30）開設しました。

利用状況

区	施 設 名	年 度	26 年度	27 年度	28 年度	前年度比較 (増減)
川 崎 区	ふあみいゆ 殿 町	児 童	2,543 人	2,763 人	2,102 人	△661 人
		成 人	2,265 人	2,287 人	1,641 人	△646 人
		合 計 人 数	4,808 人	5,050 人	3,743 人	△1,307 人
	ふあみいゆ 田 島	児 童	1,760 人	2,177 人	2,450 人	273 人
		成 人	1,520 人	1,806 人	2,301 人	495 人
		合 計 人 数	3,280 人	3,983 人	4,751 人	768 人
	ふあみいゆ 浅 田	児 童	2,672 人	2,959 人	2,886 人	△73 人
		成 人	2,173 人	2,330 人	2,263 人	△67 人
		合 計 人 数	4,845 人	5,289 人	5,149 人	△140 人
幸 区	ふあみいゆ 南 河 原	児 童	3,365 人	3,034 人	3,252 人	218 人
		成 人	3,197 人	2,856 人	3,051 人	195 人
		合 計 人 数	6,562 人	5,890 人	6,303 人	413 人
	ふあみいゆ 幸	児 童	2,398 人	2,824 人	2,920 人	96 人
		成 人	2,257 人	2,547 人	2,743 人	196 人
		合 計 人 数	4,655 人	5,371 人	5,663 人	292 人
	ふあみいゆ 小 倉	児 童	2,197 人	3,013 人	3,359 人	346 人
		成 人	1,917 人	2,635 人	2,846 人	211 人
		合 計 人 数	4,114 人	5,648 人	6,205 人	557 人

中原区	ふあみいゆ 新 丸 子	児 童	3,733 人	4,036 人	4,348 人	312 人
		成 人	3,418 人	3,695 人	4,032 人	337 人
		合 計 人 数	7,151 人	7,731 人	8,380 人	649 人
	ふあみいゆ 平 間	児 童	2,472 人	2,612 人	2,730 人	118 人
		成 人	2,234 人	2,255 人	2,532 人	277 人
		合 計 人 数	4,706 人	4,867 人	5,262 人	395 人
麻生区	ふあみいゆ 千 代 ケ 丘	児 童	2,134 人	2,496 人	2,879 人	383 人
		成 人	1,964 人	2,198 人	2,521 人	323 人
		合 計 人 数	4,098 人	4,694 人	5,400 人	706 人
	ふあみいゆ 柿 生	児 童	1,725 人	1,196 人	1,413 人	217 人
		成 人	1,536 人	1,130 人	1,391 人	261 人
		合 計 人 数	3,261 人	2,326 人	2,804 人	478 人
全 1 0 施設合計		児 童	24,999 人	27,110 人	28,339 人	1,229 人
		成 人	22,481 人	23,739 人	25,321 人	1,582 人
		合 計 人 数	47,480 人	50,849 人	53,660 人	2,811 人

(4) 小杉地区子ども・子育て支援推進事業

小杉地区の再開発に伴い、小杉こども文化センターが休止となったことにより、川崎市は、子ども・子育て世代が増加している小杉地区において、子どもが安心して安全に過ごすことのできる居場所として、また、小杉こども文化センターの代替的機能を持つ施設として「小杉地区子ども・子育て支援推進事業（愛称 小杉っこスペース）」を設置しました。当財団では、この業務を受託し、6月より運営を開始しました。

利用状況

利用者別	28年度（6月～3月）
乳 幼 児	1,255 人
小 学 生	1,278 人
中 学 生	33 人
高 校 生	3 人
成 人	1,260 人
利用者合計	3,829 人
内団体利用人数	0 人

(5) 各事業共通事項

ア 子ども運営会議等の活動促進

(ア) こども文化センター

こども文化センターには、子どもたちの自主性を尊重し、行事等で子どもたちの意見を反映させるための機関として、利用児童で組織する「子ども運営会議」が設置されています。平成28年度は延べ701回（各館平均13回）開催され、延べ5,132名（各館平均98名）の参加がありました。「ドミノ大会」や「バレンタインカード作り」「妖怪ウォッチのプラネタリウムを観に行こう!」「びっくりショー」等、様々な行事が子どもたちの企画・運営により実施されました。

(イ) わくわくプラザ

わくわくプラザにも、こども文化センターと同様の趣旨で「子ども運営会議」が設置されています。平成28年度は、延べ1,359回（各わくわくプラザ平均13回）開催され、合計48,184名（各わくわくプラザ平均477名）の参加があり、「子どもリーダー選挙」「リレー大会」「新入生歓迎会」等、様々な行事が子どもたちの企画・運営により実施されました。

イ 体験学習の拡充

こども文化センターやわくわくプラザでは、子どもたちの豊かな人間形成をめざして、様々な体験学習を積極的に取り入れています。特にこども文化センターでは「乳幼児と中学生・高校生のふれあい事業」を推進しています。この事業は、中学生・高校生の体験はもちろんのこと、異年齢交流の側面もあわせており、乳幼児と直接ふれあった中学生・高校生だけでなく、保護者からも好評を得ました。

この他にも、市民活動団体や地域の方々に協力いただき、施設の空き地を耕しての農業体験や、地域探索、科学実験、天文教室、日本舞踊教室などを企画・実施しました。

ウ ボランティア等との協働推進

こども文化センターやわくわくプラザでは、地域の様々な特技・知識等を持つ方々にボランティア講師となっただき、地域の子どもと大人が共に遊び、育み合うことができるよう環境づくりを行いました。

平成28年度は「けん玉」「親子ヨガ」「ハンドベルコンサート」「花育」「いのちの授業（誕生学）」等を開催・実演していただき、子どもたちに貴重な体験学習の機会を提供していただきました。

エ 環境整備の推進

老朽化が進んでいるこども文化センターの中には建替え又は大規模修繕が必要なものがいくつかあります。今後、こうした施設の取扱いについて市との協議を進めるため、平成28年度は、52館全てのこども文化センターの調査を実施し、施設状況の把握に取り組みしました。

(ア) 大規模修繕

30万円以上の施設・設備の修繕については、所有者である川崎市が行うこととなっていますが、安全・安心の確保や環境整備の観点から緊急度が高い場合については、市と協議のうえ、指定管理者が行っています。平成28年度においては、浅田こども文化センターのトイレ床タイル張り及び和式から洋式への便器交換等、合計7箇所（総額6,089,310円）で補修・改修工事を実施しました。

(イ) 小規模修繕・軽工事

30万円未満の施設・設備・用具等の修繕については、指定管理者が行うこととなっています。施設や用具等の安全管理については、日ごろから点検を欠かさず、破損や故障を発見した場合は、迅速に対応することが必要です。

平成28年度は、安全・安心確保の観点から、集会室照明補修工事やエアコン補修工事を実施したほか、また環境の整備・向上の観点から、わくわくプラザ外灯補修工事等、合計353箇所（総額22,808,104円）で補修・改修の工事を実施しました。

また、簡易的な補修や書棚、遊具棚等の製作においては、ニーズの把握に努めるとともに、現場を熟知している元学校業務職の方々にご協力をいただき、迅速な対応を図りました。

(ウ) 蔵書の充実

読書は、子どもたちが豊かな人間性を育む上で欠かすことのできないものです。感受性豊かな時期に多くの本と接することは、その後の人生を生きていく大きな力になります。乳幼児のための絵本をはじめ、小学生から高校生まで幅広い年齢層に対応した蔵書の充実を図り、青少年の読書力の向上、読書習慣の形成を促進しています。平成28年度は、図書購入費を各こども文化センターに10万円、各わくわくプラザ及び小杉っこスペースに5万円を配当し、合計10,300,000円を別途配当しました。

また、幸区役所の予算で幸区内の各こども文化センターに1万円分の本を提供していただき、読み聞かせなどに活用しました。

(エ) 実践集の発行

今年度も、各こども文化センター及びわくわくプラザの平成27年度の活動記録として実践集を作成しました。

各館の参考資料として、各学校や関係者への広報誌として、活用を図っていきます。

オ 教育実習・インターンシップへの対応

公益財団法人の社会貢献の一つとして、例年どおり教育実習生やボランティアを各施設で受入れました。

(ア) 児童館教育実習生の受入状況

平成28年度は17人の実習生を17館のこども文化センターで受け入れました。

受入状況

依 頼 学 校 名	人 数	実 習 場 所	実習期間
帝 京 平 成 大 学	2人	田島こども文化センター	12日
		二子こども文化センター	
玉 川 大 学	2人	長尾こども文化センター	11日
		中野島こども文化センター	
上智社会福祉専門学校	1人	王禅寺こども文化センター	12日
有明教育芸術短期大学	2人	南河原こども文化センター	12日
		幸こども文化センター	
東 京 福 祉 大 学	1人	新城こども文化センター	12日
昭 和 女 子 大 学	4人	野川こども文化センター	12日
		殿町こども文化センター	
		百合丘こども文化センター	
		下平間こども文化センター	
鎌 倉 女 子 大 学	5人	小倉こども文化センター	11日
		玉川こども文化センター	
		宮内こども文化センター	
		高津こども文化センター	
		白山こども文化センター	

(イ) 職業体験・まち探検（社会科見学）等の受入状況

職業体験・まち探検（社会科見学）等では、小学生・中学校・高校生等が、こども文化センターやわくわくプラザの見学や業務の体験を行いました。

平成28年度は合計3,433人を受け入れ、その内訳は、次のとおりです。

① 小学校・中学校生の職業体験の受入状況

依 頼 学 校 名	人 数	実 習 場 所	実 習 期 間
川崎区	旭 町 小 学 校	旭 町 こども文化センター	1 日
	渡 田 中 学 校	渡 田 こども文化センター	1 日
	臨 港 中 学 校	田 島 こども文化センター	6 日
	京 町 中 学 校	浅 田 こども文化センター	1 日
	小 田 小 学 校	小 田 こども文化センター	1 日
幸区	御 幸 中 学 校	南河原こども文化センター	2 日
	戸 手 小 学 校	幸 こども文化センター	2 日
	御 幸 中 学 校	幸 こども文化センター	2 日
	南 加 瀬 中 学 校	小 倉 こども文化センター	1 日
	塚 越 中 学 校	北加瀬こども文化センター	2 日
	日 吉 小 学 校	北加瀬こども文化センター	1 日
	日 吉 中 学 校	北加瀬こども文化センター	1 日
中原区	中 原 中 学 校	新丸子こども文化センター	1 日
	橋 中 学 校	新丸子こども文化センター	2 日
	今 井 中 学 校	住 吉 こども文化センター	1 日
	横浜国大付属中学校	住 吉 こども文化センター	2 日
	井 田 中 学 校	井 田 こども文化センター	1 日
	玉 川 中 学 校	玉 川 こども文化センター	1 日
	西 中 原 中 学 校	新 城 こども文化センター	1 日
	西 中 原 中 学 校	大 戸 こども文化センター	1 日
	宮 内 中 学 校	宮 内 こども文化センター	1 日
高津区	東 橋 中 学 校	高 津 こども文化センター	3 日
	東 高 津 中 学 校	二 子 こども文化センター	1 日
	宮 内 中 学 校	東 高 津 こども文化センター	1 日
	東 高 津 中 学 校	東 高 津 こども文化センター	1 日
	東 橋 中 学 校	子 母 口 こども文化センター	3 日
	宮 崎 中 学 校	梶ヶ谷こども文化センター	2 日
宮前区	野 川 中 学 校	野 川 こども文化センター	2 日
	有 馬 中 学 校	有 馬 こども文化センター	3 日

依 頼 学 校 名		人 数	実 習 場 所	実 習 期 間
多摩区	宿 河 原 小 学 校	57人	枳形こども文化センター	9日
	生 田 中 学 校	6人	枳形こども文化センター	2日
	宿 河 原 小 学 校	111人	長尾こども文化センター	10日
	稲 田 中 学 校	6人	長尾こども文化センター	1日
	生 田 中 学 校	4人	三田こども文化センター	2日
麻生区	王禅寺中央中学校	4人	王禅寺こども文化センター	1日
	王禅寺中央中学校	8人	虹ヶ丘こども文化センター	2日
	柿 生 中 学 校	12人	柿生こども文化センター	2日
	王禅寺中央中学校	4人	白山こども文化センター	1日

② 小学校・中学校生のまち探検（社会科見学）の受入状況

依 頼 学 校 名		人 数	実 習 場 所	実 習 期 間
川崎区	旭 町 小 学 校	69人	旭町こども文化センター	2日
	川 崎 小 学 校	6人	日進町こども文化センター	1日
	向 小 学 校	6人	渡田こども文化センター	1日
	田 島 小 学 校	3人	渡田こども文化センター	1日
	東大島小学校	12人	藤崎こども文化センター	2日
	藤 崎 小 学 校	15人	藤崎こども文化センター	2日
	殿 町 小 学 校	18人	殿町こども文化センター	1日
	渡 田 小 学 校	11人	田島こども文化センター	1日
	浅 田 小 学 校	2人	浅田こども文化センター	1日
	小 田 小 学 校	16人	小田こども文化センター	1日
	新 町 小 学 校	57人	小田こども文化センター	1日
	東小田小学校	5人	小田こども文化センター	1日
幸区	富士見中学校	5人	南河原こども文化センター	1日
	南河原小学校	13人	南河原こども文化センター	1日
	古 川 小 学 校	10人	幸こども文化センター	1日
	戸 手 小 学 校	127人	幸こども文化センター	1日
	下平間小学校	24人	下平間こども文化センター	1日
	南加瀬小学校	64人	南加瀬こども文化センター	1日
	夢見ヶ崎小学校	63人	南加瀬こども文化センター	1日
	小 倉 小 学 校	24人	小倉こども文化センター	1日
中原区	西丸子小学校	16人	新丸子こども文化センター	1日
	住 吉 小 学 校	79人	住吉こども文化センター	1日
	下小田中小学校	237人	井田こども文化センター	4日
	井 田 小 学 校	136人	井田こども文化センター	3日
	平 間 小 学 校	4人	平間こども文化センター	1日
	玉 川 小 学 校	7人	玉川こども文化センター	1日
	住 吉 中 学 校	4人	西加瀬こども文化センター	1日
	荻 宿 小 学 校	8人	西加瀬こども文化センター	1日
	新 城 小 学 校	28人	新城こども文化センター	1日

依 頼	学 校 名	人 数	実 習 場 所	実習期間
中原区	大 戸 小 学 校	7人	新城こども文化センター	1日
	大 谷 戸 小 学 校	347人	大戸こども文化センター	9日
	蟹 学 校 小 学 校	5人	大戸こども文化センター	1日
	中 原 小 学 校	15人	宮内こども文化センター	1日
	宮 内 小 学 校	146人	宮内こども文化センター	2日
高津区	上 作 延 小 学 校	21人	上作延こども文化センター	1日
	高 津 小 学 校	7人	高津こども文化センター	1日
	坂 戸 小 学 校	10人	二子こども文化センター	1日
	久 本 小 学 校	155人	二子こども文化センター	1日
	東 高 津 小 学 校	12人	東高津こども文化センター	1日
	末 長 小 学 校	5人	末長こども文化センター	1日
	子 母 口 小 学 校	25人	子母口こども文化センター	2日
	西 梶 ヶ 谷 小 学 校	6人	梶ヶ谷こども文化センター	1日
宮前区	宮 崎 台 小 学 校	23人	宮崎こども文化センター	1日
	西 有 馬 小 学 校	150人	有馬こども文化センター	1日
	宮 崎 小 学 校	18人	有馬こども文化センター	2日
	南 野 川 小 学 校	6人	野川こども文化センター	1日
	野 川 小 学 校	5人	野川こども文化センター	1日
	西 野 川 小 学 校	5人	野川こども文化センター	1日
	宮 崎 台 小 学 校	14人	宮前平こども文化センター	1日
	富 士 見 台 小 学 校	50人	宮前平こども文化センター	2日
	向 丘 小 学 校	34人	平こども文化センター	2日
	向 丘 小 学 校	10人	向丘小学校わくわくプラザ	1日
	白 幡 台 小 学 校	3人	白幡台こども文化センター	1日
多摩区	東 生 田 小 学 校	70人	枳形こども文化センター	1日
	宿 河 原 小 学 校	67人	長尾こども文化センター	2日
	稲 田 中 学 校	3人	長尾こども文化センター	1日
	南 生 田 小 学 校	77人	錦ヶ丘こども文化センター	2日
	三 田 小 学 校	39人	三田こども文化センター	1日
	菅 小 学 校	138人	菅こども文化センター	1日
	中 野 島 小 学 校	16人	中野島こども文化センター	2日
	南 菅 小 学 校	36人	南菅こども文化センター	1日
	西 菅 小 学 校	44人	南菅こども文化センター	1日
麻生区	百 合 丘 小 学 校	16人	百合丘こども文化センター	1日
	西 生 田 小 学 校	15人	百合丘こども文化センター	1日
	長 沢 小 学 校	11人	東百合丘こども文化センター	1日
	千 代 ヶ 丘 小 学 校	60人	千代ヶ丘こども文化センター	1日
	王 禅 寺 中 央 小 学 校	94人	王禅寺こども文化センター	2日
	東 柿 生 小 学 校	109人	王禅寺こども文化センター	2日
	虹 ヶ 丘 小 学 校	16人	虹ヶ丘こども文化センター	1日
	王 禅 寺 中 央 小 学 校	5人	白山こども文化センター	1日
	王 禅 寺 中 央 中 学 校	7人	白山こども文化センター	1日
	麻 生 小 学 校	16人	麻生こども文化センター	1日

③ 私立中学生・高校生ボランティアの受入状況

依 頼 学 校 名	人 数	実 習 場 所	実習期間
県立高津養護学校	15人	有馬こども文化センター	1日
東洋英和女学院中学部	1人	有馬こども文化センター	1日
大東学園高等学校	2人	宮前平こども文化センター	3日
		梶ヶ谷こども文化センター	
横浜国際大学附属中学校	1人	住吉こども文化センター	2日

④ チャレンジボランティア（夏期）の受入状況

主 催 者	人 数	受 入 場 所	受入期間
川崎市社会福祉協議会 区社会福祉協議会 川崎市公園緑地協会 川崎授産所学園	7人	幸こども文化センター	2日
	2人	戸手小学校わくわくプラザ	2日
	2人	御幸小学校わくわくプラザ	2日
	2人	西御幸小学校わくわくプラザ	2日

⑤ その他

神奈川県立中原養護学校の5年経験者社会体験研修の依頼を受け、大戸こども文化センターにて3日間、中原養護学校教諭1人の受け入れを行いました。

カ 情報発信の取組強化

（ア） ホームページの活用

イベントの開催・活動内容・団体への部屋の貸し出し状況等、施設に関する最新の情報を提供できるよう、定期的に掲載内容を更新しました。

（イ） かわさき子育てアプリの活用

イベントの開催情報を定期的に更新しました。また、各施設のホームページに「かわさき子育てアプリ」の紹介ページを掲載し、周知向上を図りました。

（ウ） 地域メディアの活用

地域メディアを活用し、地域の方々にこども文化センターの場所や事業を広報することにより、利用者の増加を図りました。

① かわさきFMの媒体利用

今年度で3年目を迎えた、かわさきFMのこども文化センターの紹介コーナー「こども文化センター みんな☆元気か〜い!」は、毎月第1日曜日に放送され、平成28年度までに32館のこども文化センターが紹介されました。平成29年度の番組改編に伴い28年度でコーナーが終了となる予定です。

② 川崎市内ケーブルテレビの媒体利用

川崎市内で放送されている「YOUテレビ」「i T S C O M」「J : C O M」の各ケーブルテレビ会社に、地域情報提供の一環として、こども文化センター事業の事前告知や当日の様子を放送することで、こども文化センターの周知や広報を行っています。今年度は、平成28年9月27日に新丸子こども文化センター（中原区）で開催された「ちびっこバザール」の様子や、平成29年1月28日に高津市民館にて開催された「ゴーゴーかわさキッズ BUNBUN ステージ」当日の様子が、東急沿線のケーブルテレビ「i T S C O M」で放送されました。また、平成28年12月20日に稲田小学校わくわくプラザで開催された「いのちの大切さを伝える読み聞かせ事業」の様子が「J : C O M」にて放送されました。

キ 効果的な研修計画の策定・実施

青少年健全育成事業のサービス向上には、職員の資質向上が欠かせません。当財団では、勤務経験や職位に応じた各種研修を計画的に実施したほか、職員のスキルアップや資格の取得を目的に、神奈川県や川崎市等、他の団体が主催で行う研修にも職員を積極的に参加させています。なお、各館では、職員ごとの研修受講名簿を備え、全職員が必要となる研修を順次受講できるように工夫し、効率・効果的な執行を心掛けました。

(ア) 財団主催研修（全市合同）

研 修 名	講 師	対 象	参加数	開 催 場 所
新 任 館 長 ・ 職 員 研 修 （ 全 7 日 間 開 催 ）	本部職員 中原消防署 社会保険労務士	館 職 長 員	延べ 170人	財 団 本 部
主 任 研 修	自主研修	主 任	15人	財 団 本 部
本 部 体 験 研 修	本部職員 (職員係・施設係・事業係・ エリア担当、人材育成係)	主 任	3人	財 団 本 部
職 員 研 修 「児童の身体活動と健康」	野井真吾氏 (日本体育大学教授)	館 職 長 員 チ ー ヲ	延べ 369人	中 原 市 民 館
館 長 研 修	大嶽圭子氏 (㈱CCファーム代表取締役)	館 長	延べ 103人	財 団 本 部
本 部 係 長 級 研 修	大嶽圭子氏 (㈱CCファーム代表取締役)	課 主 長 幹 係 係 長 員 エ リ ア マ ネ ー ジ ャ ー	12人	財 団 本 部

(イ) 財団主催研修（区単位）

区	研 修 名	講 師	対 象	参加数	開 催 場 所
川 崎 区	レクリエーション研修	本吉有美氏、大友三郎氏 (レクリエーションインストラクター資格取得者)	館 職 長 員 チ ー ヲ サ ポ ー タ ー パ ー ト ナ ー	延べ 34人	日 進 町 こ ど も 文 化 セ ン タ ー
	中 高 生 対 応 研 修	三輪ひろ美氏、興梠教三氏 (神奈川県警本部少年育成課少年相談センター)	館 職 長 員 チ ー ヲ サ ポ ー タ ー パ ー ト ナ ー	延べ 35人	日 進 町 こ ど も 文 化 セ ン タ ー
	保護者対応研修（接遇）	小島由枝氏 (川崎市総合教育センター適応指導教室ゆうゆう広場)	館 職 長 員 チ ー ヲ サ ポ ー タ ー パ ー ト ナ ー	延べ 63人	大 師 こ ど も 文 化 セ ン タ ー
幸 区	衛 生 管 理 研 修	小倉美香氏 (幸区役所保健福祉センター衛生課)	館 職 長 員 チ ー ヲ サ ポ ー タ ー パ ー ト ナ ー	延べ 62人	幸 こ ど も 文 化 セ ン タ ー
	応 急 手 当 研 修	上野智子氏 (幸こども文化センター職員)	館 職 長 員 チ ー ヲ サ ポ ー タ ー パ ー ト ナ ー	延べ 59人	幸 こ ど も 文 化 セ ン タ ー

区	研 修 名	講 師	対 象	参加数	開 催 場 所
幸 区	A E D 研 修 (全 3 回)	三浦唯史氏 (幸消防署救急係長)	職 員 チ ー フ サ ポ ー タ ー パ ー ト ナ ー	延べ 140 人	幸 消 防 署
	不登校児対応について	小清水豊氏 (ゆうゆう広場専任教諭)	職 員 チ ー フ サ ポ ー タ ー パ ー ト ナ ー	延べ 31 人	小 倉 こ ど も 文 化 セ ン タ ー
中 原 区	中 学 生 対 応 不登校児の居場所づくり	大平年光氏 (西加瀬こども文化センター館長)	館 長 職 員 チ ー フ サ ポ ー タ ー パ ー ト ナ ー	延べ 44 人	西 加 瀬 こ ど も 文 化 セ ン タ ー
	高 校 生 対 応 高校生の居場所づくり	長嶺憲二氏 (玉川こども文化センター館長)	館 長 職 員 チ ー フ サ ポ ー タ ー パ ー ト ナ ー	延べ 31 人	玉 川 こ ど も 文 化 セ ン タ ー
	衛 生 管 理	藤原わかな氏 大島孝弘氏 (中原区役所保健福祉センター)	館 長 職 員 チ ー フ サ ポ ー タ ー パ ー ト ナ ー	延べ 62 人	中 原 区 役 所 5 0 1 会 議 室
	主 任 講 師 体 験	掛田隆氏 (大戸こども文化センター主任)	館 長 職 員	延べ 17 人	大 戸 こ ど も 文 化 セ ン タ ー
高 津 区	保 護 者 ・ 利 用 者 と の よりよい関係づくり (クレーム対応防止研修)	田中真喜男氏 (子母口小学校校長)	館 長 職 員 チ ー フ サ ポ ー タ ー パ ー ト ナ ー	延べ 48 人	高 津 こ ど も 文 化 セ ン タ ー
	中 学 生 ・ 高 校 生 の 居 場 所 づ く り	岡田拓也氏 (西高津中学校生徒指導担当教諭) 渡辺壽久氏 (橘中学校生徒指導部教諭)	館 長 職 員 サ ポ ー タ ー パ ー ト ナ ー	延べ 36 人	高 津 こ ど も 文 化 セ ン タ ー
	チ ー フ サ ポ ー タ ー 情 報 交 換 研 修	梶原誠氏 (子母口こども文化センター館長)	チ ー フ	44 人	高 津 こ ど も 文 化 セ ン タ ー
宮 前 区	ド ッ ジ ビ ー 審 判 研 修	白井和彦氏 (宮崎こども文化センター主任) 長谷川寛隆氏 (有馬こども文化センター職員)	館 長 職 員 チ ー フ サ ポ ー タ ー パ ー ト ナ ー	延べ 44 人	有 馬 こ ど も 文 化 セ ン タ ー
	ド ッ ジ ビ ー 審 判 研 修	白井和彦氏 (宮崎こども文化センター主任) 長谷川寛隆氏 (有馬こども文化センター職員)	館 長 職 員 チ ー フ サ ポ ー タ ー パ ー ト ナ ー	延べ 45 人	白 幡 台 こ ど も 文 化 セ ン タ ー

区	研 修 名	講 師	対 象	参加数	開 催 場 所
宮前区	レクリエーション研修	前平八千代氏 (麻生こども文化センター職員) 長谷川寛隆氏 (有馬こども文化センター職員)	館 長 職 員 チ ー ム サ ポ ー タ ー パ ー ト ナ ー	延べ 52人	宮前平こども 文化センター
	主任講師体験研修 利用者対応について	白井和彦氏 (宮崎こども文化センター主任)	館 長 職 員	延べ 18人	有馬こども文化 センター
多摩区	コミュニケーション・ トレーニング研修	山下優子氏、松村喜代氏、神邊葉子 氏、宮澤奈美江氏 (NPO法人セルフ・カウンセリング 普及協会コミュニケーション・ トレーナー)	館 長 職 員 チ ー ム サ ポ ー タ ー	延べ 86人	生田出張所
	中高生対応研修	松田典英氏 (川崎市総合教育センター、教育相 談センター指導主事)	館 長 職 員 チ ー ム サ ポ ー タ ー パ ー ト ナ ー	延べ 66人	生田出張所
	レクリエーション研修	山田拓氏 (青少年事業課施設係 主任) 木村友也氏 (南宮こども文化センター職員)	館 長 職 員 チ ー ム サ ポ ー タ ー パ ー ト ナ ー	延べ 45人	南宮こども 文化センター
麻生区	中学生・高校生の 居場所づくり不登校	香山哲哉氏 (柿生こども文化センター館長)	館 長 職 員 チ ー ム サ ポ ー タ ー パ ー ト ナ ー	延べ 33人	東百合丘こども 文化センター
	接 遇 研 修	坪本美代子氏	館 長 職 員 チ ー ム サ ポ ー タ ー パ ー ト ナ ー	延べ 71人	百合丘こども 文化センター
	乳 幼 児 対 応	大西博美氏 (麻生区役所地域みまもり支援セン ター担当係長)	館 長 職 員 チ ー ム サ ポ ー タ ー パ ー ト ナ ー	延べ 57人	千代ヶ丘こども 文化センター

(ウ) 川崎市主催研修

研 修 名	講 師	対 象	参加数	開 催 場 所
組織の管理運営 (全2回)	斉藤 智子氏 ((株)コンフィダント・ジャパン 代表取締役)	館 長 リ ー ダ ー	延べ 109人	生涯学習プラザ
児 童 虐 待	出路 幸夫氏 (川崎市こども家庭 センター課長補佐) 松園 康平氏 (川崎区役所保健福 祉センター 担当課長)	館 長 職 員 臨 時 職 員	延べ 92人	生涯学習プラザ
アレルギー対応 (全2回) (エピペン実習含む)	鎌田 孝子氏 (川崎市男女共同参画センター)	館 長 職 員 臨 時 職 員	延べ 216人	生涯学習プラザ

研 修 名	講 師	対 象	参加数	開 催 場 所
学 校 や 地 域 と の 連 携	栗林 知絵子氏 (NPO 法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク代表)	館 長 職 員 臨 時 職 員	延べ 79 人	生涯学習プラザ
保護者・家庭との連携 (全 2 回)	小見祐子氏 (NPO 法人神奈川県スクール カウンセラー協会理事長)	館 長 職 員 臨 時 職 員	延べ 178 人	生涯学習プラザ
中 高 生 へ の 対 応	板橋美由紀氏 (川崎市総合教育センター 指導主事)	館 長 職 員 臨 時 職 員	延べ 87 人	生涯学習プラザ
障 害 児 対 応	高山深紀世氏 (学校教育部指導課指導主事)	館 長 職 員 臨 時 職 員	延べ 96 人	生涯学習プラザ
安 全 管 理 ・ 事 故 防 止	小松英光氏 (川崎市教育委員会学校教育部 多摩区・教育担当担当課長)	館 長 職 員 臨 時 職 員	延べ 80 人	生涯学習プラザ
子 ど も の 権 利	大田祈子氏 (川崎市役所青少年支援室 子どもの権利担当課長)	館 長 職 員 臨 時 職 員	延べ 91 人	生涯学習プラザ
障 害 児 対 応	松原晴美氏 (川崎市総合教育センター 指導主事)	館 長 職 員 臨 時 職 員	延べ 101 人	生涯学習プラザ
外国につながる子どもの支援	島田道雄氏 (川崎市総合教育センター 指導主事)	館 長 職 員 臨 時 職 員	延べ 91 人	生涯学習プラザ
遊びや活動の支援 (全 3 回)	相馬拓也氏 (㈱ブッシュクラフト) 特定非営利活動法人 国際自然大学校職員	館 長 職 員 臨 時 職 員	延べ 126 人	川崎市野川青少年 野外活動センター
野 外 活 動 (全 3 回)	特定非営利活動法人 国際自然大学校職員	館 長 職 員 臨 時 職 員	延べ 84 人	川崎市野川青少年 野外活動センター

(工) 資格取得研修

研 修 名	講 師	対 象	取 得 数	開 催 場 所
評 価 調 査 者 資 格 研 修 (全 6 日 間)	かながわ福祉サービス 第三者評価推進機構	本 部 職 員	1 人	神 奈 川 県 社会福祉会館
雇用環境整備士資格講習会	社団法人 日本雇用環境整備機構	本 部 職 員	1 人	TKP 新宿カンファ レンスセンター
幼児安全法支援員講習会	日本赤十字社 神奈川県支部指導員	ふぁみいゆ担 当 職 員	3 人	川崎市総合福祉 セ ン タ ー
甲 種 防 火 管 理 者 講 習 会	川崎市消防防災指導公社	館 長	5 人	川崎日航ホテル 横 須 賀 市 立 勤 労 福 祉 会 館

研 修 名	講 師	対 象	取 得 数	開 催 場 所
児 童 厚 生 員 等 基 礎 研 修 会 (児 童 厚 生 2 級)	一般財団法人 児童健全育成推進財団	職 員	8 人	上智大学四ツ谷 キャンパス
神奈川県放課後児童支援員認定 資格(5月、9月、2月3回開催)	一般社団法人 キッズコーチ協会	館 長 職 員	延べ 162 人	川 崎 市 役 所 総 合 自 治 会 館
おもちゃインストラクター 養 成 講 座	山口裕美子氏 (おもちゃコンサルタントマスター)	本 部 職 員	1 人	青 梅 市 福 祉 セ ン タ ー
調 査 管 理 者 登 録 更 新 研 修	かながわ福祉サービス 第三者評価推進機構	主 幹 係 長 館 長	8 人	神 奈 川 県 社 会 福 祉 会 館
レクリエーションインストラク タ ー 資 格 選 考 会	特定非営利活動法人 神奈川県レクリエーション協会	職 員	1 人	かながわ県立 ス ポ ー ツ 会 館

ク 子どもの変化の気づきについて

いじめや虐待、不登校等、子どもを取り巻く社会問題は多様化・複雑化が進んでおり、痛ましい事件も後を絶ちません。川崎市からも、虐待の疑いなどの気づきがあった場合は組織的な対応をし、複数の機関で見守る体制を整えることが求められています。

当財団では、虐待が疑われる児童の報告フローの作成や、早期発見のチェックリストを活用し、被虐待児の把握に努め、川崎市へ報告する体制を整えました。

また、昨年度に引き続き、できるだけ多くの小・中・高生に「いのちの大切さ」を体験学習してもらうために「乳幼児とのふれあい事業」や「命の大切さを伝える読み聞かせ事業」の拡充を進めました。

ケ 事故報告

(ア) こども文化センターでの事故について

こども文化センターで起きた26件の事故のうち、16件は集会室での事故なっています。集会室での事故を防止するためにも、集会室を利用する児童には、準備運動を促し事故減少に努めています。また、幼児の怪我については、保護者の方に目を離さないよう声掛けや掲示をしました。

過去5年間のこども文化センターにおける事故の件数

月	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
4 月	1(1)人	1(1)人	3(1)人	2(0)人	1(0)人
5 月	1(0)人	1(0)人	1(0)人	2(1)人	1(0)人
6 月	4(1)人	0(0)人	2(1)人	1(0)人	4(1)人
7 月	1(1)人	2(0)人	1(0)人	1(0)人	2(1)人
8 月	2(1)人	3(1)人	2(1)人	6(3)人	1(1)人
9 月	6(3)人	6(2)人	0(0)人	2(1)人	2(1)人
10 月	3(2)人	2(0)人	1(0)人	3(2)人	2(0)人
11 月	0(0)人	5(2)人	2(0)人	1(0)人	4(0)人
12 月	2(1)人	2(0)人	3(0)人	0(0)人	2(1)人
1 月	3(1)人	0(0)人	0(0)人	0(0)人	3(3)人
2 月	2(1)人	2(1)人	3(1)人	4(1)人	3(2)人
3 月	4(2)人	2(1)人	0(0)人	2(1)人	1(1)人
計	29(14)人	26(8)人	18(4)人	24(9)人	26(11)人

* () は 4 日以上通院の事故内数 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

(イ) わくわくプラザでの事故について

平成 28 年度のわくわくプラザにおける事故件数は 144 件となっています。その中で多い怪我としては、擦傷・打撲 61 件、骨折（ヒビ含む）27 件が挙げられます。

例年同様、館長会議での事例検討会等による類似事故の防止対策の検討、適切な見守り配置の再確認、子どもたちへの声掛けの強化、準備運動の徹底等、様々な取組みを継続しています。また、事故が発生した際の初期対応、特に首から上の怪我への対応の重要性について、再度臨時職員を含む全職員に周知しました。事故ゼロを目指すとともに、万が一事故が起きた際も、迅速かつ適切に対応しました。

過去 5 年間のわくわくプラザにおける事故の件数

月	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
4 月	16(4)人	21(3)人	17(8)人	9(0)人	12(4)人
5 月	29(6)人	15(4)人	15(3)人	13(2)人	16(5)人
6 月	28(9)人	14(9)人	13(1)人	11(7)人	11(5)人
7 月	20(6)人	19(7)人	16(3)人	9(1)人	13(6)人
8 月	15(3)人	13(4)人	7(0)人	13(5)人	4(0)人
9 月	11(2)人	10(1)人	10(5)人	10(3)人	13(4)人
10 月	16(6)人	11(6)人	14(5)人	10(2)人	17(4)人
11 月	19(6)人	12(0)人	8(1)人	10(4)人	14(2)人
12 月	14(1)人	8(1)人	13(3)人	10(2)人	19(2)人
1 月	12(2)人	8(0)人	7(2)人	12(4)人	6(1)人
2 月	7(3)人	3(1)人	8(2)人	11(5)人	8(0)人
3 月	7(2)人	14(8)人	18(5)人	10(3)人	11(2)人
計	194(50)人	148(44)人	146(38)人	128(38)人	144(35)人

* () は 4 日以上通院の事故内数（平成 29 年 3 月 31 日現在）

(ウ) その他の場所での事故について

平成 28 年度のわくわくプラザの登下校時の事故は 24 件でした。

3 法人の運営

2010（平成 22）年に公益財団法人としての認定を受け、その後、効果的な公益事業の実施と、法人としての役割・機能が発揮できる組織づくりを本部と現場が一体となって取り組みを進めてきました。また、当財団の実施している事業や財務に関して広く市民へ説明する責務を自覚して法人の運営を行いました。

ア 業務・組織の改革

法人全体の業務改善に取り組むとともに、事業計画の進捗管理を着実にを行い、コスト削減や効果的な事業の実施等を通じて、経営基盤の強化を図り組織の総合力の向上に努めました。

また、組織としての一体感の醸成や職員のスキルアップを図るため、各種研修等を実施するとともに、職員の意識改革の促進と人材育成に取り組みました。

イ 財務改善

経理・会計処理では、公益法人会計基準に準拠した会計を確実に行うために、平成 25 年 9 月 1 日から P C A 公益法人会計ソフトを導入して実施しています。平成 26 年度からは諸謝金の会計処理業務を委託から経理担当での直接実施に切り替えることにより、経費

削減を図りました。また、各課との連携を図り、事務処理の見直しを行いました。

引き続き、適正な会計処理の実施に向け、経理事務の改善を推進するとともに、安定した公益財団法人の経営を維持するために適切な財務管理を実施します。

ウ その他

平成27年度の事業報告書等の提出については、関係書類等を作成し監事監査を経て理事会及び評議員会（定時評議員会）での承認を受け、平成28年6月に行政庁(神奈川県)へ報告しました。関係書類等については事務所に備え置くとともに、貸借対照表を公衆の見やすい場所に掲示しました。

平成29年度の事業計画書等の提出については、平成29年3月14日の第4回理事会で承認を受け、3月30日に行政庁に報告しました。